

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)

(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1、活動を通して得たことを記入して下さい。

今回、主要メンバー全員でのクールはとても有意義だった。今まで組織的に一堂に会してじっくり議論を交わすという機会は少なかった。何人かのメンバーが一度に抜けるということで団体にとっての節目でもあった。大島との今後の付き合い方や団体について感じていること、今後この繋がりを自分たちの人生にどう生かせるかなどとても綿密な議論が出来た。

2、今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

全く今までのままの様な形で関わっていくことはありえないと思う。はっきりと答えるのも難しい。力仕事は少なくなり、学習支援や子供たちとの関わりが増えてくるので大島の人達にどれだけ関わっていくかという境界線を団体としてひかなければならない。受験生の勉強を教えるということはその子の今後にも十分影響してしまうからである。

3、被災地支援のアイデア (企画、具体的な活動内容など) を記入して下さい。

現地のニーズはこれまでもこれからも細かく変化していく、島民の方とコミュニケーションをとりながら見落としがちなニーズや意見を汲み取り、現地との関わり方を模索し団体側でも議論を重ねることが求められると思われる。支援が終わるということは作業の需要が無くなることなのか、そうでないのか。ただ瓦礫を運ぶような作業はもう無い。大島の“復興”のためにどこまで関わっていくようにするのも団体の中で決めなければならぬと思った。

4、浅野代表へ一言お願いします。

このようなクール、機会を設けられたことに大変感謝しています。今までのクールとは異なり組織的に被災地支援に関して議論を重ね経験を共有できたことに感謝します。浅野代表の援助が無ければ現在の様な団体にはなり得ないと確信しています。先輩としても中央大学へ昼間の時間講義に来てくださった際、浅野代表の力強い声や被災地への思いを語られる表情に突き動かされたのが今でも思い出されます。団体の活動や広報を通じてそういった“被災地への思い”を一人でも多く繋いでいけるような団体になるよう今後もメンバー一同取り組んでいきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

今回は養殖を営む方々に今後のニーズの聞き取りを行いました。いろんな方のニーズを集約して気づいたことをは、同じ島内といえども復旧の度合いは様ではないということでした。未だにボランティアの手を借りなければいけない人たち、既に一人であるきだそうとしている人たちなど様々でした。震災以前のように、ボランティアの手を借りずとも生活していける段階にはまだ遠いのだと実感しました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

少人数で継続的に足を運ぶことはこれからも求められていくことであると感じました。大人数で訪れても、現場のニーズにあった支援は難しく、また大きなイベントを頻繁におこなうよりは、年に数回程度と限定し、平穏な生活に徐々に戻りながら、寄り添い続けることが必要なのではないかと感じました。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

企画やイベント等は東北でというよりはそれ以外の地域で行った方が良いのではないかと感じました。震災を忘れさせないということに加え、東北をよく知ってもらうという機会とし、外部依存型ではなく東北が自らの力と魅力でこれから自立していけるような支援が必要な時期なのではないでしょうか。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

おばか隊にはじめて出会ったのが、浅野代表が支援くださった中大の震災ボランティアでした。浅野代表が提供してくださった機会を通してたくさんの出会いを得ることができ、とても感謝させていただいております。

今後も、東北支援には厳しい状況になっていくと思いますが、先輩方の期待を胸に、中大生として頑張っ参ります。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(総合政策) 学部 (1) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

今回の活動を通じて改めて被災地支援には実際にどのようなことが求められているのかということを再認識することができました。実際に現地の民宿の方々にお話を伺うことができ、新たな活動の視野を広げられることができました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

特に今回の活動で気づいたことは、実際に動き出している漁師さんたちの作業をサポートすることです。もちろん、漁師さんにしかできない専門的な作業はありますが、そうでない一般的な作業は私たちにも可能です。たとえば、いかだづくりを使用する竹運びは人数がより多い方が作業がスムーズになります。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

ここ最近、震災から時間も経ちボランティアの数もとても減ってきています。そうした現状を打開するためにも、被災地に行ったことのない人たちを多数集めてボランティアツアーなどを行うのは非常に有効かと思います。そうすれば、今まで被災地の現状を知らなかった人たちに被災地のことを知ってもらいきっかけにもなりますし、またボランティアとして行こうという意欲に駆り立てることができるはずです。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

今回、絆基金を利用させていただけたことで移動に新幹線、また宿泊に民宿を利用することができました。そのおかげで、今までよりも断然快適で、そしてスムーズに作業を行うことができました。とても感謝しています。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

気仙沼大島へ行き、今回はどのような支援が必要なのか、個人個人を訪問し復興状況やこれからの予定、支援が必要なことはあるかを尋ねました。表面的には養殖業など各種漁業も再開して復興へ順調に進んでいるように思われましたが、やはり漁業に必要な道具が被害に遭い不足している状態のため、まだまだ復興には時間が必要であることが分かりました。自然を相手に仕事をするの大変さが、どれだけ難しいか実感することとなりました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

今回行ったように、まず現地のニーズを把握することが非常に重要だと思います。震災から2年が経とうとする今、がれき撤去など“震災ボランティア”という言葉から想像しやすい活動は実際にはほとんどありません。これからは、被災者が自分の足で立ち上がって、生活できるような環境を整えるための支援が必要不可欠だと思います。それは人それぞれ異なっていますので、ひとりひとりに寄り添ってコミュニケーションをしながら支援の方法を探っていくべきだと思います。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

被災地に足を運んでもらい、どんな支援が必要かをたくさんの人に考えてもらうのが有効だと思います。そのため、観光に力を入れそこに漁業体験など盛り込めば、被災者との交流もできるのではないのでしょうか。被災地のもともとあった観光名所やおいしいものをどんどん宣伝していけばいいと思います。大学などで物産展なども開き、被災地に興味を持ってもらうのもいいのではないかと思います。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

絆基金を利用させて頂けたおかげで暖かい宿に宿泊することができ、さらに新幹線を使用することで体への負担が大幅に軽減いたしました。負担軽減することで活動する際体力が足りなくなることが起きず、一生懸命活動することができました。ありがとうございました。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(経済) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

被災地でボランティアとして活動するのは今回で 4 回目だったため、被災地の人達とは今まで以上により深く交流することができました。また、現在の復興状況や今後のボランティア活動のニーズ等のお話を伺うことができ、長期的なボランティアの必要性を改めて感じました。これからも定期的に被災地にあしを運び、復興に向けて支援していきたいです。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

震災後の 1 年間は多くのボランティア団体が毎週のように被災地でボランティア活動を行っていたが、2 年が経とうとしている現在ではボランティアの数が目に見えて減ってきています。しかし、被災地の現状はまだ震災以前の状況と比較しても復興しているとはいええない状況です。そのため、今後は一回限りの短期的なボランティアではなく、長期的なボランティアがより必要になってくると思います。さらに、今までボランティアに興味が無かった人や興味があっても参加する機会が無かった人など、より多くの方が被災地に目を向けて復興支援について考えていくことが必要だと思います。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

メディアによる現地の状況を伝える回数が減ったことで、被災地の現状やボランティアの必要性について知る機会が減少していると思います。さらに一般の人を対象にしたボランティア活動も減少しつつあり、興味があっても参加できない人が多くいます。これらのことから、今後は一般の人が参加できるボランティアを定期的に募集できるような団体と制度があれば良いと思います。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

このような補助金があることで、長期的な復興支援を行うことができるので、とても有難いです。

年 月 日 提出

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)

(文) 学部 (4) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

今後、大島での活動のニーズの調査を行った。

この調査により大島の人々がどのような活動を求めているのか明確にわかりより良いボランティア活動につながる。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

心のケアや子どもたちの学習支援など。

震災の影響で学年ごとに子どもたちの学力に差があると伺った。学校だけではできないきめ細かな学習支援が必要なのではないかと感じた。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

被災地に行くだけでなく被災地に住む人々にも東京や大阪など都心で被災地の状況やいまの生活などを発信していくことでこれからも震災を忘れないためにも必要なのではないかな。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

ご支援ありがとうございます。浅野代表のおかげでスムーズに移動ができ身体的な負担が軽減できました。また、貴重な経験をすることができ感謝しております。ありがとうございました。

以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)

(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1、活動を通して得たことを記入して下さい。

今回で大島を訪問したのは3回目になります。大島の人たち、他のボランティア団体の方との交流、町の様子、養殖作業のお手伝いを通して、私やチーム次元がどのように大島や被災地とかかわっていくべきなのか、被災地が何を必要としているのかについて強く考えさせられました。

2、今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

今後、被災地を被災地と見るのではなく、あるひとつの地域と見ていくことが必要だと感じる。資源のない地震大国であり、疲弊した地方都市を抱える日本が今後どのように再生していくのか、そのモデルとなるのが先の大地震で被害を受けた地域だ。したがって、日本はもっとこの被災地に注目すべきであり、より積極的にその復興プランに携わらなければならないと感じる。

3、被災地支援のアイデア (企画、具体的な活動内容など) を記入して下さい。

観光業の復活のため、PR 活動が必要である。漁業を支えるためには、補助金制度や助け合い制度の充実であると感じた。

4、浅野代表へ一言お願いします。

この助成金のおかげでこのような経験を得られとてもうれしく感じるとともに、この経験を誰かに伝えたり、生かしていく責任を感じています。本当にありがとうございます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

今回の活動では新しく一年の区切りということでいままでお世話になった方々にご挨拶と同時にニーズの調査を行いました。自分の担当はわかめの養殖をしている方で、まずはごあいさつした後に昨年のようなわかめ詰めのお手伝いをしながらニーズの調査をしました。その中でおっしゃられていたことを簡潔に述べるならば、今年は今までとは異なった作業を行うということです。いつまでもわかめの作業をする予定ではなく、また新たにほかの業務を行うので私たちの活動も異なってくるということです。この場以外にもほかのボランティアさんや島民のかたと交流する機会があったのでお話しさせていただき、「チーム次元」が大島で活動する際に今までと異なった形をとらざるを得ないことがわかりました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

被災地支援では現在は量より質が求められていることは明白です。そして今までのようにボランティアをされているボランティア、つまり現地の人や震災の時にしか使えない公共施設などの他の力を借りて行うボランティアはあまり必要とされていない気がします。私たちも今までトレーラーハウスという民宿ではない場所をお貸ししていただいていたのですが、もうその場所を使うことにもほかの島民の目は厳しくなり、島の移動もすべて島民の人たち任せにするというのはかえって迷惑になる可能性があるということです。よって自分たちで動けるボランティアが被災地では求められていると感じました。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

被災地支援の形として大島にはたくさんの人に足を運んでもらう必要があります。それは現地の人でもほかの被災地の人でも言うようにまずは被災地に来ることが復興だと言っています。そのために私たちができることとして大島の観光ツアーを企画します。大島には数多くの宿泊施設があるので寝床に心配はありません。そして今ではわかめの養殖が再開しすでに収穫もしています。自分自身も大島でとれたわかめを家では食べています。これからはホタテや牡蠣の収穫もできるようになると思うのでそのわかめや牡蠣を目の前で調理して食べてみたり大島の観光名物である鳴き砂のある「くぐなり浜」や特選に選ばれたことのある「小田の浜」などにも訪れるべきです。そして夜などには被災者の方のお話や、懇談会を開催し人と人とのつながりを作ります。そして大島を楽しんでもらいこれからも観光や大島の人に出会いにいろいろな方面から人が来てくれればと思います。

これを学生からの視点で実践しているのが私たち「チーム次元」です。金銭面を大学や絆基金に援助していただきたくさんの方の学生に大島に来てもらい、且つ復興支援を行っています。これをビジネス化し、たくさんの方の社会人にも来てもらうことが大島だけではなく、各被災地の復興への第一歩になると思います。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

二度の絆基金による大島への活動の補助ありがとうございます。大島の復興を考えていく中で正直、金銭面が大変であります。これは頼ることが一番簡単ですが、自分はなるべく自分たちの力で復興支援をしていくことが大切だと思っています。復興支援ボランティアと言いながら、実際に自分は経済面を補助してもらい助けていただいている現状です。なので最終的には自分たちで大島に行く費用や宿泊費を調達できるようにしなければと思っています。宿泊も今まで泊まっていたところには泊まれなくなる可能性が高い現状です。現実的な見直しをこれからしていきます。今回の2回の活動の補助、本当にありがとうございました。

以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)

(経済) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

被災地でボランティアとして活動するのは今回で 4 回目だったため、被災地の人達とは今まで以上により深く交流することができました。また、現在の復興状況や今後のボランティア活動のニーズ等のお話を伺うことができ、長期的なボランティアの必要性を改めて感じました。これからも定期的に被災地にあしを運び、復興に向けて支援していきたいです。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

震災後の 1 年間は多くのボランティア団体が毎週のように被災地でボランティア活動を行っていたが、2 年が経とうとしている現在ではボランティアの数が目に見えて減ってきています。しかし、被災地の現状はまだ震災以前の状況と比較しても復興しているとはいえない状況です。そのため、今後は一回限りの短期的なボランティアではなく、長期的なボランティアがより必要になってくると思います。さらに、今までボランティアに興味が無かった人や興味があっても参加する機会が無かった人など、より多くの方が被災地に目を向けて復興支援について考えていくことが必要だと思います。

3. 被災地支援のアイデア (企画、具体的な活動内容など) を記入して下さい。

メディアによる現地の状況を伝える回数が減ったことで、被災地の現状やボランティアの必要性について知る機会が減少していると思います。さらに一般の人を対象にしたボランティア活動も減少しつつあり、興味があっても参加できない人が多くいます。これらのことから、今後は一般の人が参加できるボランティアを定期的に募集できるような団体と制度があれば良いと思います。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

このような補助金があることで、長期的な復興支援を行うことができるので、とても有難いです。

以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)

(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

二度目の訪問でしたが変わらない大島の人々の温かさを感じました。また、震災から二年が経とうとしている現在でも自立が困難な状況にあり、それでもそれに向けて一步步進んでいる人がいる現実も知ることができました。しかし、震災の被害を大きく受けた地域以外では、主にメディアを通してですが、もはや震災の現状などは伝えられる機会が少なくなったという実感を確認なものにすることができました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

まだ震災はおわっていないということをもっと伝える必要があると感じました。一生懸命に自立を目指す人が多くいるなかで、被災地とそこで生活をするひとの現状が以前ほど私たちに伝えられてないという事実があります。もっと積極的に知ってもらうことが大切だと思いました。そしてそれによってたくさんの人から様々な知恵を得ることができると思います。

3. 被災地支援のアイデア (企画、具体的な活動内容など) を記入して下さい。

震災から約二年が経ち、震災は人々の記憶から遠ざかっているように感じます。また被災地では震災以前の生活を取り戻しつつある人もいます。この二点から、例えば、物産展の開催が挙げられると思います。日本全国の会場で、被災地の農家が作った食品や製品を販売します。これにより開催地の人々は震災を記憶にとどめておくことができ、また震災で被害を受けた人々はその売り上げを生活再建に充てることができると思います。簡単にうまくいく話ではないですが、風化を防ぐための力になると思います。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

私たち学生は時間とやる気はあってもお金がないとよく言われます。何か行動を起こすときに一番に大切なことはもちろんやる気や情熱です。しかし、残念なことに経済的に弱ければその一步を踏み出すことはできません。私たち学生団体が被災地を訪問し人々と触れ合い、またそれらを通して自分自身も成長できる機会を得ることができるのは「絆基金」のような学生を援助していただける体制が整っているからだと思います。今回私は「絆基金」の助成によって気仙沼大島を再び訪問し、人々と触れ合うことができました。「絆基金」と浅野代表に感謝の一言です。ありがとうございました。引き続き被災地支援に取り組む学生を暖かく応援していただけたら幸いです。

以上